

区 分	看護学専門科目 看護学の基本	科目名	看護学の基本			教員名	横 田 素 美(前半) 工 藤 真由美(後半)		
開講年次	1年次通年	必修 選択	別 必 修	授業形態	講 義 演 習	単位数	3	時間数	60時間

### 授業の概要

看護における基本的概念や基礎となっている考え方について学び、看護の専門性や果たすべき機能・役割について、看護理論家や看護研究者の知見を学び、学生個々が自らの考えを深めていく。

また看護におけるケアリングの位置づけを理解し、看護を展開するために必要な思考プロセスを学ぶ。

### 学習目標

#### (一般目標)

看護理論の主題である看護、人間、環境、健康の概念に関して、代表的な看護理論家の定義を学び、それぞれの概念ならびに概念の関係について理解する。ケアリングの概念を学び、看護実践の基本的な概念との関係を理解する。看護学の問題解決過程としての看護過程の発展経緯を理解し、看護実践のために必要な思考プロセスを理解する。

#### (行動目標)

看護の主要概念について説明でき、看護の概念枠組みの発展に寄与してきた代表的な看護理論家の特徴をまとめることができる。また看護の専門性ならびにケアリングの概念を説明でき、看護実践を展開する上での看護過程の重要性を述べるができる。

### 授業内容 (学習項目)

回	項 目	内 容 (キーワード等)
1	看護の概念 (看護とは)	専門職としての看護 (専門職の基本的概念および基準)、看護学と医学の歴史的発展の比較、アートとしての看護、科学としての看護
2	看護の主題である“人間”について	開放系としての人間 (全体論、一般システム理論)、人間に基本的ニーズについて (マズローのニーズの階層構造)、人間の自己知覚について
3		
4	看護の主題である“環境”について	環境の概念、物理的環境、社会的環境、文化的環境
5	看護の主題である“健康”について	健康モデルについて (臨床モデル、役割遂行モデル、適応モデル、幸福主義モデル)、歴史的観点からの適応概念の変化
6		
7	看護理論について	看護理論と看護実践の関係、看護理論と関連諸科学、代表的な看護理論家について (フローレンス・ナイチンゲール、ウァージニア・ヘンダーソン、ドロセア・オレム、アイモジン・キング他)
8		
9	日本における看護職	日本の歴史から見た看護、看護制度 (保健師助産師看護師法から見た看護の責務と専門性、看護職の資格)
10		

回	項 目	内 容 (キーワード等)
11	諸外国における看護職の資格と育成について	関心のある国における看護職の資格や育成をグループに分かれて調べる。
12	諸外国における看護職の資格と育成について	グループでの成果を発表し、共有し、日本における看護職の資格と育成と比較し検討する。
13		
14	保健医療福祉の分野における様々な専門職と看護職の役割と機能	様々な専門職の専門性について、チームで協働する中で看護職が果たす役割と機能
15	これからの看護における問題	社会構造や国民の意識の変化がもたらす看護の機能や役割への影響
16	看護を可能にする要件	科学とわざ (art)
17		ケアリング (講義、演習) (現象からある概念を見出すこと)
18		
19		
20		クリティカルシンキング リフレクション メタ認知
21		
22		
23		
24	看護を提供するプロセス	看護にプロセスがあることとは
25		看護過程
26		人を理解するプロセスとは
27		アセスメントすることとは
28		看護診断
29	看護過程 (演習)	看護計画
30	看護過程 (演習)	看護を評価することとは
	看護過程 (演習評価)	
	看護を継続すること	看護記録、診療録、個人情報

## テキスト

特になし。授業資料を配付。

## 参考書

Mayeroff, M. 著, 田村 真・向野宣之訳: ケアの本質—生きることの意味—, ゆるみ出版  
その他随時紹介する。

## 成績の評価方法

授業への参加度、演習の取り組み、レポートにより総合的に評価する。

## 教員から学生へのメッセージ

看護学において重要となる考え方を学び、学生個々が目指したい看護職者としてのあり方を模索することを楽しみにしています。